

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議とご家族様との繋がりが薄く、ご家族様の運営推進会議への参加も無い状況。またご家族様に運営推進会議の内容や開催する意義を理解されていないと思われる。また、開催日時が平日の昼間とあってご家族様の参加をご協力頂くに少し壁があるのが現状。ご家族様の意見も施設職員や地域の方々(運営推進会議参加者様)と上手く共有していない部分もある。	運営推進会議とご家族様が何らかの形で繋がる事が出来る。地域とご家族様との双方が繋がりを持ちグループホームの運営や課題、活動等にご協力や意見を頂けるようになる。参加が難しい場合は書面等で会議の議題や内容を知って頂く。ご家族様の意見や要望に対する取り組みをご家族、地域の方々(運営推進会議参加者様)施設職員で共有して取り組んでいくことができる。	運営推進会議について今一度、開催の目的意義や開催の日時、場所をご家族様に周知して頂き、可能な場合は参加のご協力をご案内する。(2ヶ月以内) 参加を頂けなかった場合は、ご家族様面会時や毎月の郵送物に議事録を同封する、また事業所内にも各会議の議事録等を閲覧する事が出来る様に掲示する。会議の開催日時を工夫し、各季節毎の家族様を招いての行事を企画し、その中でご家族様だけの会議を開催する方向で調整していく。(3ヶ月～12ヶ月)	6ヶ月
2		ユニット(2ユニット)間の入居者様の情報共有が不十分な為、他のユニットの入居者様が自ユニットに来た際の対応が不十分であったり、自ユニットでは対応できない事がある。自ユニットから、他ユニットやデイサービスルームへと出向いていかれる入居者様が多くなってきている。	他のユニットの入居者様の基本情報や身体状況を理解し、自ユニットへ来られた際や職員が出向いた際に、スムーズに支援や介助にあたる事が出来るようになる。両ユニットの情報の共有する機会が増え、施設全体で全入居者様のケアにあたる事が出来るようになる。急変時にも瞬時に対応出来る様になり、両ユニットの入居者様が安心して安全に過ごす事が出来るようになる。	身体状況表や基本情報を両ユニットで共有する為、情報シートをすぐに確認できる様に設置する。状況が変わった場合は適時変更や報告を行っていく。特に気をつける留意点がある場合は口頭や書面にて報告する。他ユニットのユニット会議の議事録は全職員で読む様にしていく。他のユニットによく行き来する入居者様が来られた際は歓迎する様な声掛けや態度を取り自由に施設内で過ごして頂く共通意識を持つこと。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。